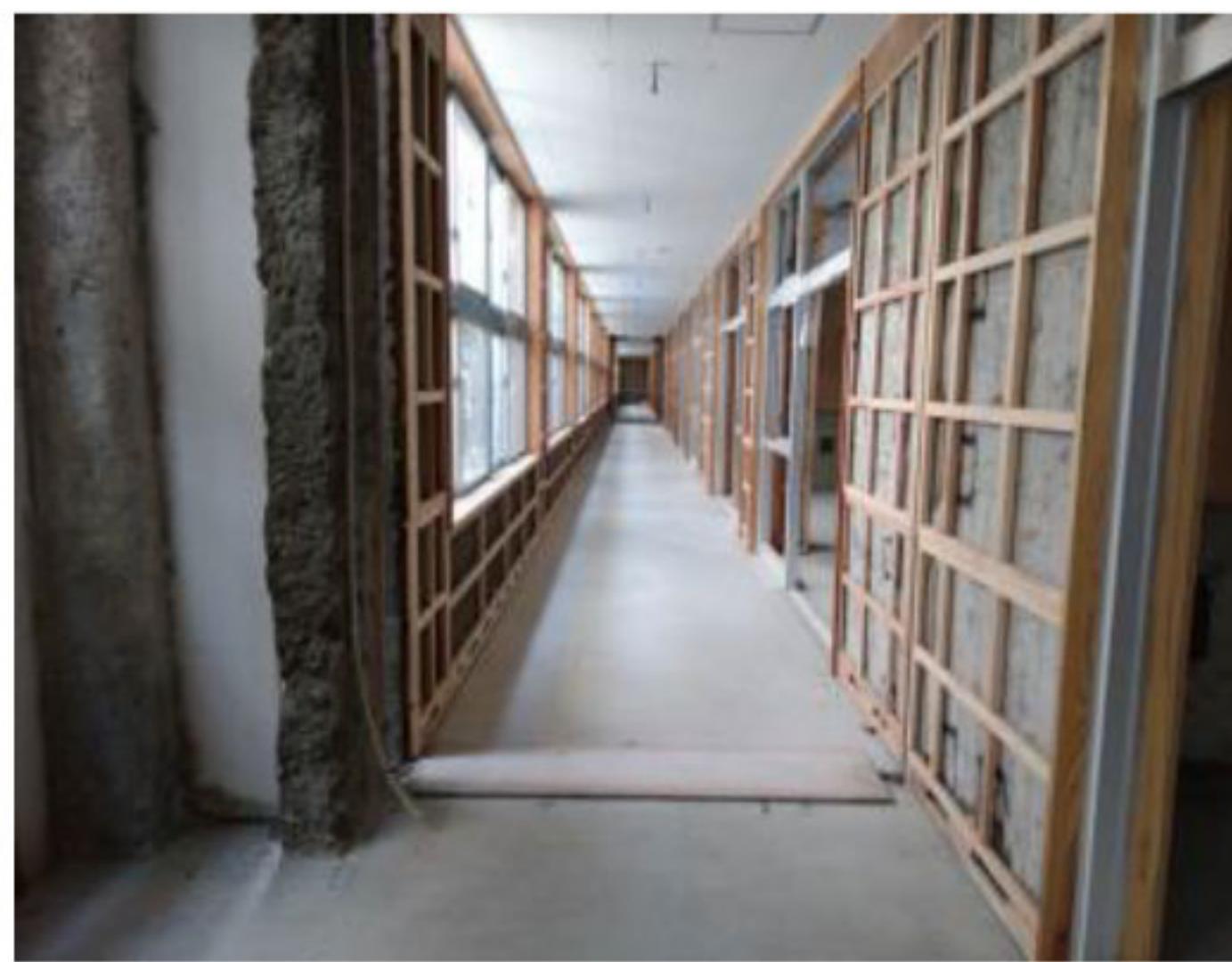
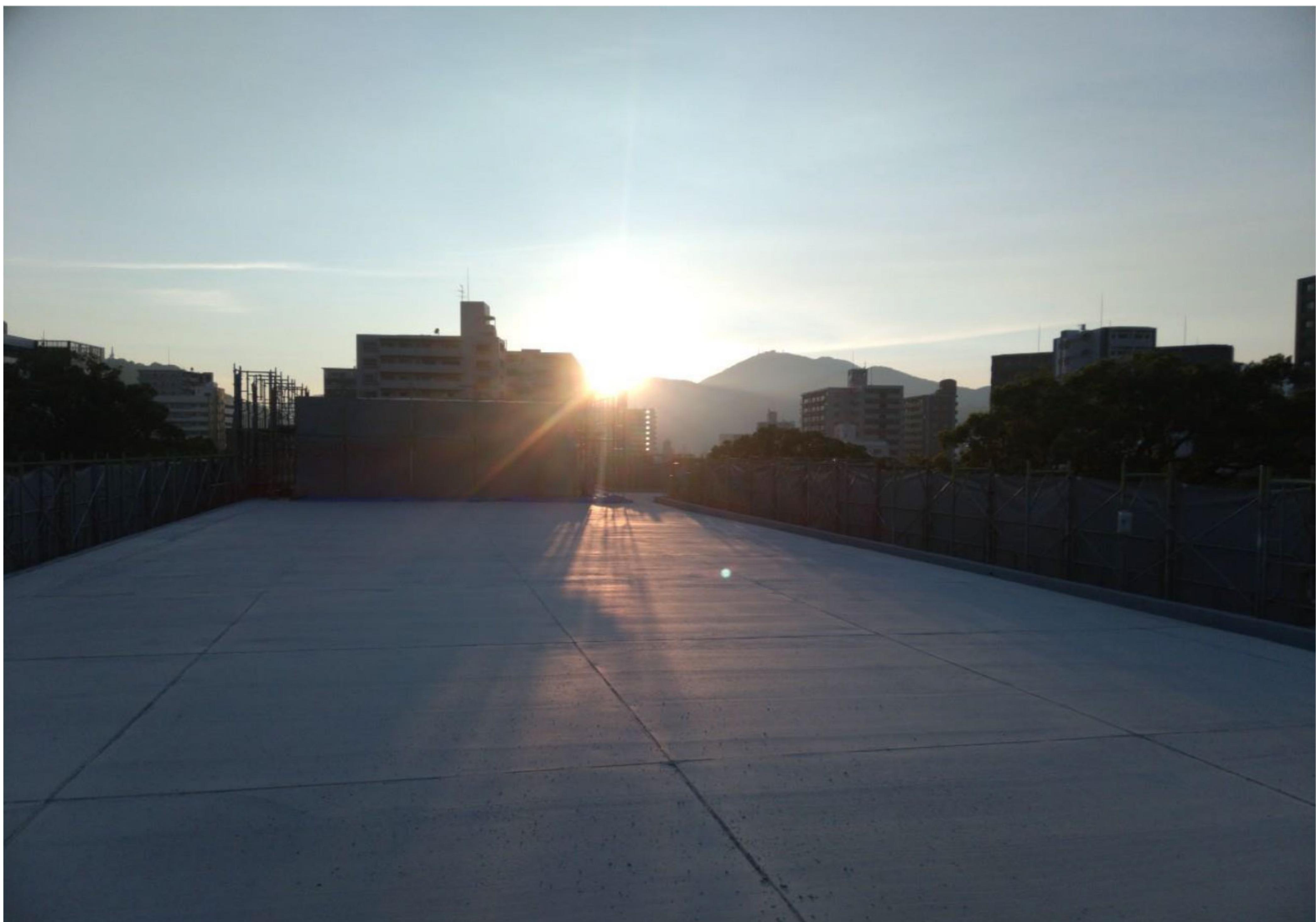


第一高校長寿命化改修（第一期）工事

2024年9月号

竹内・坂口JV NEWS! Vol.11



竹内・坂口建設工事共同企業体

株式会社竹内工務店
〒862-0913
熊本市東区尾ノ上4-20-11
TEL 096-365-3366



坂口建設株式会社
〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園28-43
TEL 096-383-3131



～工事の状況・予定～

台風10号の影響が心配されましたが、現場は特に被害はありませんでした。8月は外部は中性化対策工事・屋上の防水保護コンクリート打設行い、内部は木下地工事・天井ボード張り工事・サッシ取付・木部と階段の塗装工事を行いました。9月は外部は中性化対策工事・バルコニー防水下地工事、内部は木仕上工事・天井ボード張り工事等を行っていきます。



1階壁胴縁施工状況



1階廊下天井下地状況



鉄骨階段蹴上塗装状況



屋上溶接金網施工状況



屋上防水保護コンクリート打設状況



屋上防水保護コンクリート打設状況

工事予定表 令和6年9月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
	(日)	月	火	水	木	金	(日)	月	火	水	木	金	(日)	月	(日)	月	火	水	木	金	(日)	月	(日)	秋分の日											
仮設工事																																			
普通教室棟内部	3階	腰壁仕上げ	壁下地張り	便所下地組	腰壁張り	壁へニヤ張り	便所下地組	腰壁張り	壁へニヤ張り	便所PB張り	腰壁張り	壁へニヤ張り	便所化粧ケイカル板張り	腰壁張り	壁へニヤ張り	便所PB張り	腰壁張り																		
普通教室棟外部	2階	壁下地組					便所下地組				便所下地組		腰壁張り			便所PB張り		腰壁張り			腰壁張り			腰壁張り			腰壁張り			腰壁張り					
普通教室棟外部	1階	天井仕上げ					天井仕上げ				便所下地組		腰壁張り			便所PB張り		腰壁張り			腰壁張り			腰壁張り			腰壁張り			腰壁張り					
普通教室棟外部	東階段	壁LGS下地組														壁ケイカル板張り																			
普通教室棟外部	西階段						壁LGS下地組									壁ケイカル板張り																			
普通教室棟外部	屋上							手摺取付								EXP.J取付																			
普通教室棟外部	北	下地調整						窓廻りシーリング								窓廻りシーリング																			
普通教室棟外部	南	下地調整						窓廻りシーリング								窓廻りシーリング																			
普通教室棟外部	西	下地調整															下地調整																		
普通教室棟外部	東	下地調整															下地調整																		
クラブハウス棟	7月完了																																		
備考					定例会議			現場閉所						定例会議			現場閉所										定例会議			現場閉所					

～建具改修工事～

8月でアルミサッシ、パーテーション等建具の設置予定箇所の取付がほぼ完了しました。下の写真は、どちらも2階廊下のものです。左の写真は、解体工事が終わった時（3月）のもので、現在は右の写真のように外部のサッシ・教室と廊下の間仕切が設置されています。



← 2階廊下

左：解体工事が終わり、コンクリート躯体のみの状況（3月頃）

右：サッシ・間仕切取付完了

サッシ・パーテーションの取付の流れは下記になります。たくさんの作業員さんが携られています。



アルミサッシが搬入され、2・3階へはクレーンを使って荷揚げします。サッシ屋さんが、仮止めし、躯体付けアンカーに溶接して留め付けていきます。



左官さんが、躯体とサッシ枠の間にモルタルを充填していきます。



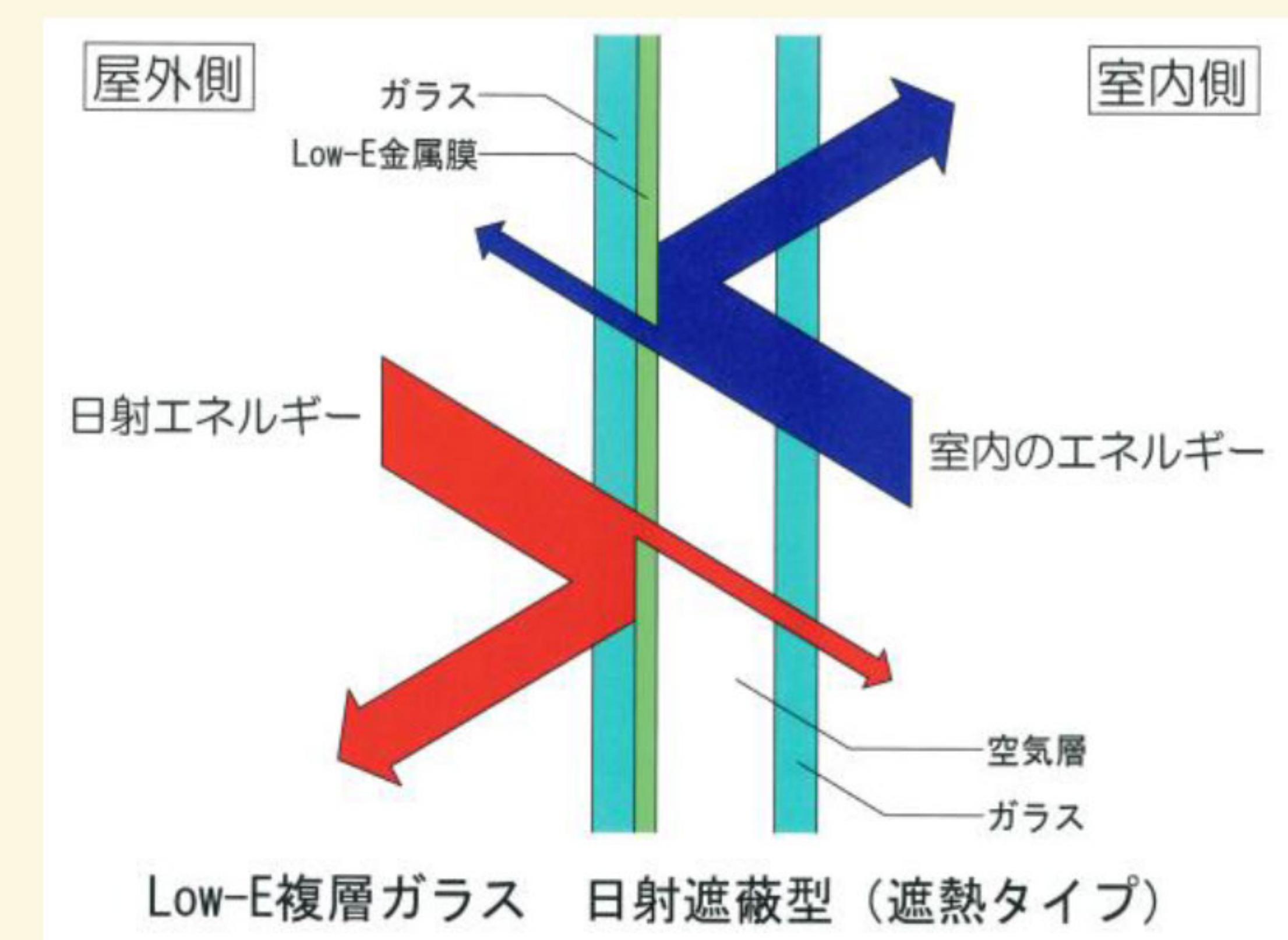
ガラスが搬入され、ガラス屋さんが障子にガラスを取り付けていきます。シーリング材でガラスを固定します。

～窓ガラス～

今回の改修工事で、窓ガラスにはLow-E複層ガラスが採用されています。一般的に、エコガラスと呼ばれている省エネルギー性の高いものです。

「Low-Eガラス」とは、ガラスの表面にLow-E膜といわれる特殊な金属膜をコーティングしたガラスのことです。優れた断熱性能と遮熱性能で、ガラスからの熱の出入りを防いで、暑い夏も、寒い冬も室内を快適に保ってくれます。冷暖房の効率が良いため、冷暖房費削減にも効果があり、結露防止・紫外線カットの効果もあります。

Low-Eガラスは、複層ガラスを構成するガラスとして使用され、Low-Eガラスを用いた複層ガラスのことを「Low-E複層ガラス」といいます。Low-E複層ガラスは、Low-E膜の特性と位置により、大きく2つに種別されており、「日射遮蔽型（遮熱タイプ）」と「日射取得型（断熱タイプ）」があります。普通教室棟には、日射遮蔽型（遮熱タイプ）が設置されています（屋外側よりLow-E4mm+空気層6mm+強化透明5mm）。

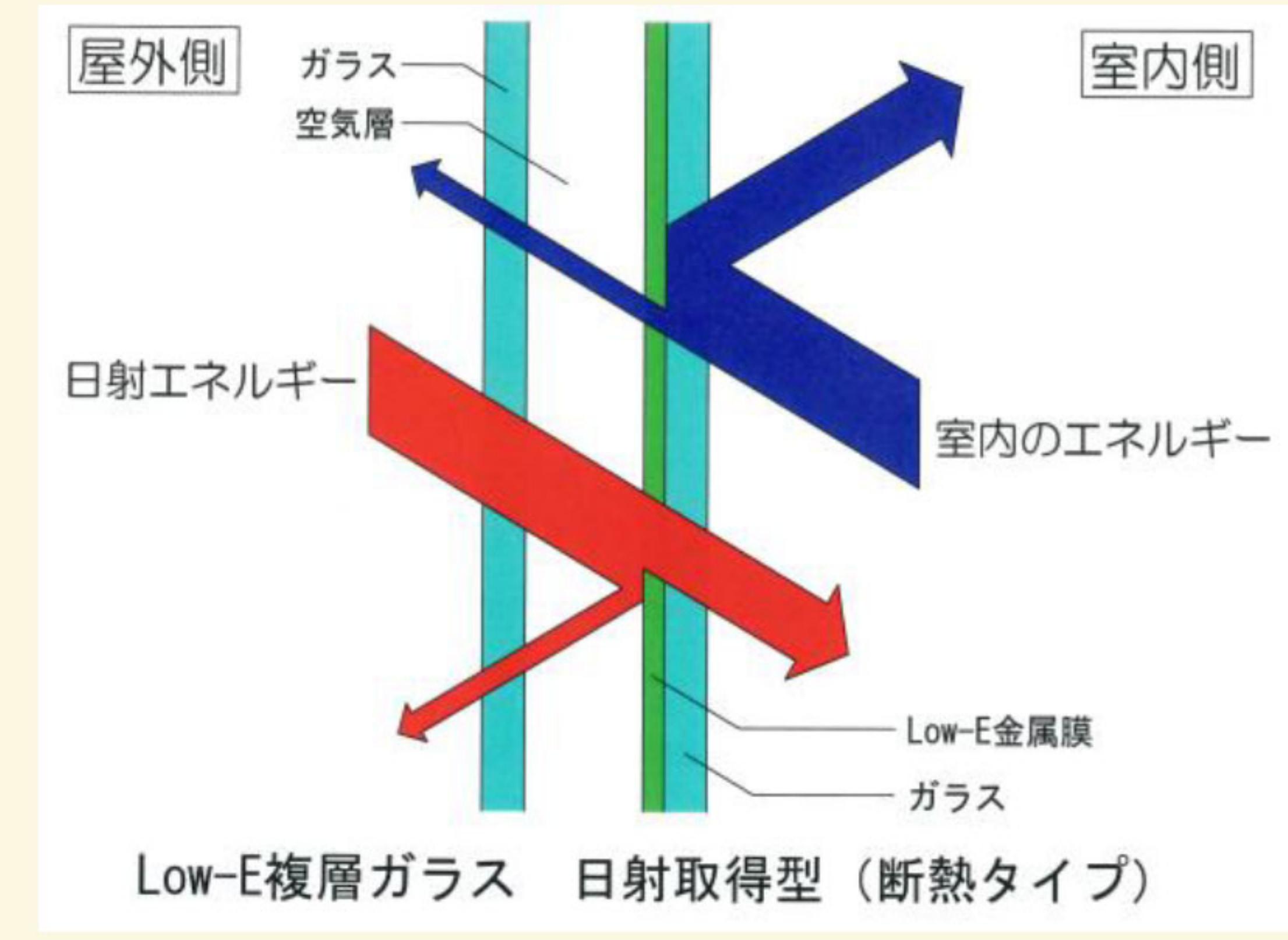


★日射遮蔽型（遮熱タイプ）

Low-E膜の特性 近赤外線・遠赤外線の双方を吸収・反射する。断熱性能・遮熱性能に優れる。

Low-E膜の位置 断熱だけではなく遮熱も重視するので、屋外側のガラス表面にLow-E膜を配置。

高い断熱性能と日射遮蔽性能を両立し、夏の太陽の日射熱を抑え、冬の室内暖房熱を逃がさないため、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境をつくる。西日対策や紫外線による色あせ防止にも効果がある。



★日射取得型（断熱タイプ）

Low-E膜の特性 主に遠赤外線を吸収・反射する。日射エネルギーを効率よく取り入れ、暖房熱は室内側に反射される。

Low-E膜の位置 断熱を重視するので、室内側のガラスの表面にLow-E膜を配置。

日射熱を取り入れつつ、室内暖房熱の暖かさを逃がさない。南面の窓に用いると、太陽高度の低い冬に日射熱を取り入れることができ、暖房エネルギーの削減につながる。

※赤外線には、「近赤外線」と「遠赤外線」の2つがあり、太陽の暖かさは「近赤外線」、暖房の暖かさは「遠赤外線」である

～所長より～

8月は例年よりも暑い夏となり、作業員の熱中症等心配されましたが、対策を行うことにより現場内での熱中症災害等発生することなく、現時点で無災害で進んでいます。今後も災害が発生しないよう十分注意・配慮を行い竣工まで進めていきたいと思います。現場では、各所仕上工事を開始しています。9月より新学期頑張って下さい！建築に興味のある方はぜひ質問等お寄せください。

WEB版は右のQRコードから
ご意見・ご要望・ご感想等もこちらからどうぞ！

